

# 救援・復興と原発ゼロめざして

被災者に心寄せ、情報を発信、一貫して「安全神話」を追求、世論と政治を動かしています

## 「しんぶん赤旗」

300人の被災者  
実態調査に注目!

被災地で系統的にアンケート  
家計悪化改善せず、9割が国の全面支援求める

震災後の  
家計・収入は  
どうですか

(%)

	変わらない	少し苦しくなった	かなり苦しくなった	その他
2011年3月	25	29	42	4
2011年9月	32	27	39	2
2012年3月	30	33	36	1

生活、産業再建に  
国の全面支援が  
必要だと思いますか

(%)

	そう思う	そうは思わない	わからない
2011年3月	91	3	6
2011年9月	90.1	2.1	7.8
2012年3月	91.2	2.8	6

2012年7月3日付

### 震災がれき 処理早く

東日本大震災で津波の甚大な被害を受けた市町村では、平常時の一般廃棄物の数十年、数百年分にあたるがれきが生じた。がれきの存在は、住民の日常生活や観光の振興に暗い影を落とし、その一日も早い処理が復興の前提となっている。岩手県山田町、宮古市の現状を見ました。(細川豊史)

#### 岩手県山田町

カキの養殖が盛んな山田町の山田湾。国道45号沿いの道の駅や浦の浜地区に、カキ食べ放題の「カキ小屋」があります。風光明媚(めいび)な浜の風景。しかし、国道からカキ小屋の方面に入ると、震災の現

実を突きつけられま

火災が発生

道の左手には、赤茶色に染まった鉄のかたまりと化した廃棄自動車

の山。右手には、大量のがれきの山です。町の中心産業の漁業を支援してきた漁船や漁具を

## 101年分 右も左も“山”



はじめクリートが土砂が山積みになっています。同町のがれきはすべて、処理施設へ搬出されます。震災前、この場所は公園で、住民の憩いの場でした。池があり、チューリップの花が咲き、祭りも開かれていました。昨年10月には、がれやハエ

## 被災地は いま

## 住まい・復興共に考えよう



### 会の活動計画

東日本大震災で被災した住宅の今後や住まいについて、被災者が小さな集まりをつくってともに考える取り組みが宮城県勢市で始まり、日本共産党宮城県選挙区委員会が呼びかける「住まいと復興を考える会」市による復興計画の情報が不足するなか、住まいと復興に関心する被災者の集まりが広がっています。(本田孝典)

宮城石巻 党が呼びかけ「会」づくり集い

市役所5階市民サロ、市の担当者や議員、水産部や選挙区委員会、顧問や要望を聞き取り、ききやにぶつける参加者、担当者の説明に、身を乗り出します。

「土地のあつかいはどうなるのか」と、築10年の自宅が津波に流された木村生(なほ)さん(64)。再建の元手になる被災宅地の買い上げ額が心配です。参加するまで船重やうわさを振り回されてきました。

「要があるときはみんなで話し合っ」て市役所に申し入れます。

「一日も早く、安心して住める住まいを確保するためにみんなで声を集めてがんばる」

2012年4月16日付

「しんぶん赤旗」は、震災から3カ月の6月に200人、半年の9月と1年目の2012年3月に300人の被災者に直接取材して生活実態調査を行いました。この系統的な実態調査は被災地の記録をまとめている団体からも注目されています。

「しんぶん赤旗」は、「国が全面支援しないと地方は再生しない」(岩手県宮古市の自営業男性)、「民主も自民も公明も消費税増税の大合唱だが、寝言をいうな」といいたい。その前に米軍への思いやり予算や政党助成金こそ削るべきだ(名取市の男性)など、被災者置き去りの談合政治への怒り、被災地の実態をつたえ、復興めざすとりくみをともにすすめていきます。

2012年7月2日付

### 飯館村の避難区域再編

## 畑の土を作り直し また花咲かせたい

東京電力福島第1原発事故により計画的避難区域に指定された飯館村の区域再編が、7月半ば行われます。住民が村に帰ることをめざす上で、まき散らされた放射性物質を取り除く除染が大きな課題になっています。(柴田善太)

守り隊パトロールで自宅に帰っていた高橋さんを訪ねると、自宅前のヒールハウスは雑草が生えていました。高橋曰く、インフラ整備をしながら、数年かけて帰還をめざす居住制限区域に再編されています。6月22日、村の見

7月で避難生活が1年になる飯館村、松塚地区は、高橋曰く、インフラ整備をしながら、数年かけて帰還をめざす居住制限区域に再編されています。6月22日、村の見

を測るモニタリングポストは毎時1.885Bq(年間換算約9.7Bq)を表示していました。農業高校を出てから農業一筋。土にもみ殻、スキの刻んだもの、木の葉、米ぬかを入れたら、土を重ねて発酵させた堆肥を利用した有機栽培で、見事なトルコキキョウやアロケを育ててきました。

「工夫すればその分いいものが作れる。今度はおもしろい、こうしようと思えるのが、放射能を削るのは農地除染の代表的手法です。しか

「土は農家が長年工夫を凝らして作った土の栄養素が集まる部分でもあります。それを削り取るのは、農家にとって身を削られる感じが基本」と高橋さんはいいます。

放射能物質は土の表面にたまるため、表土を削り取るのは、農家にとっても身を削られる感じが基本」と高橋さんはいいます。

### 原発事故 福島 のいま



避難区域の再編、今までの警戒区域と計画的避難区域を、①帰還困難区域(年間積算線量50Bq超)、②居住制限区域(同20Bq超)、③避難指示解除準備区域(同20Bq以下)に再編します。再編は田村市、川内村、南相馬市について4例目。



雑草はえるヒールハウスの前に立つ高橋さん(福島県飯館村)